

令和6年度有明アーバンスポーツパーク整備運営事業の状況

資料 3

No.	業務区分	業務計画の概要 ※要求水準書を踏まえて作成	業務進捗状況 (令和7年3月末)	評価(案)	
				要求水準書等 達成・未達成	コメント
1	工事の期間中業務	各種許可申請について関係行政庁と調整の上、遅延なく改修・建設工事を完了させる。	・アーバンスポーツ施設の改修(3x3バスケットボールコート上屋テント、屋外コートの整備)、基盤施設、および多目的施設の建設工事について、関係法令及び工事の安全等に関する指針等を遵守し、設計図書及び工種別の施工計画に従って施設の建設工事を実施した。 ・工事車両の通行に当たり、周辺道路の状況を把握し、事前に道路管理者及び近隣住民等と調整するとともに、運行速度、誘導員の配置、案内看板の設置及び道路の清掃等、について配慮を実施した。	達成	・各種関係法令等を遵守し、設計図書及び工種別施工計画に従って施設の建設工事を実施した。 ・事前に道路管理者及び近隣住民等と調整するとともに、その他の安全対策を徹底した。
2	工事のしゅん工時業務	完了検査を実施し、必要に応じ都に対して施設・設備什器備品等の取扱い説明を実施する。	令和6年9月27日に工事完了検査を実施した。 令和6年10月4日の工事完成確認時、施設・設備什器備品等の取扱い説明を実施した。	達成	完了検査を実施し、工事完成確認時に都に対して施設・設備什器備品等の取扱い説明を実施した。
3	工事監理業務	設計図書の内容を、建設業務に適切に反映するための指導を行うとともに、建設業務の品質管理、工程管理、安全管理が適切に実施され、要求水準が満たされた施設が構築されているか監理を行う。	①工事監理業務 現場定例を月1回以上実施しており、工事が適切に推進されているか管理監督を行った。	達成	法令や安全指針を遵守し、設計図書や施工計画に従っているか確認を実施した。
			②現場立会い業務 建設業務の主要な工程毎に現場立会いを行い、施工状況や品質の確認をして、「工事監理業務作業内容」、「工事監理記録写真」を作成した。	達成	建設業務の主要な工程毎に、現場にて立会いを行い、その施工状況および品質の確認を行った。
			③定例会議の運営業務 原則、月1回の都や統括管理責任者、業務責任者を含めた現場定例会議を開催した。	達成	定例連絡会議を定期的に開催し、都へ連絡及び報告を行った。
4	広報・誘致・予約管理業務(開業準備期間)	①広報 ウェブサイトの開設や各種媒体を用いたPR活動を積極的に実施する。 ②誘致 ・スケートボード、クライミング、3x3バスケットボールの各競技に専任担当を設置し、アーバンスポーツ関連の大会・イベント誘致に取り組む。 ・周辺住民などのニーズに応じた多種多様なイベントを誘致する。 ③予約管理 ・透明性を確保した、適切な利用予約受付体制を構築する。	①広報 ・東京都スポーツ文化事業団の都立スポーツ施設紹介として、令和6年1月頃に都庁サイネージ、ゆりかもめ電子広告などに掲出した。 ・令和6年9月25日にHPを公開した。SNSアカウントも開設した。 ・令和6年10月9日にメディアデーを設け、メディア露出拡大を狙い、45媒体の取材があった。 ②誘致 ・アーバンスポーツ支援協議会及び3競技の国内競技連盟と定期的に協議を行った。 ・令和6年7月には、有明スポーツフェス(有明アリーナ)にスケートボードとピックルボールの体験教室を出展した。 ③予約管理業務 ・クラウド型の予約受付システムを導入し、利用者の利用促進につながる予約体制を整えた。	達成	・ウェブサイトやSNSアカウントの開設、各種媒体を用いたPR活動を積極的に実施した。 ・各競技の専任担当を通じてアーバンスポーツ支援協議会及び3競技の国内競技連盟と連携し、大会やイベント誘致に取り組んだほか、周辺住民対象のイベントを実施した。 ・利用促進につながる予約受付体制を構築した。
5	利用規則の策定業務	都、競技団体、周辺地域、テナント等と協議の上、休館日、開館時間、利用料金、利用方法等について、利用規則を策定する。	①休館日及び開館時間 ・毎月第三月曜日、年末年始は休館とした。 ・利用者及び来館者の利便性や需要動向を検討し、夜間は21時までの開館とした。 ②利用料金 類似施設の利用料金を踏まえ、都と協議の上、一般的水準の利用料金を設定した。	達成	都と協議の上、休館日、開館時間、利用料金、利用方法等について、利用規則を策定した。
6	備品調達業務	都が準備する備品に加え、本施設の運営において必要となる備品を調達する。	競技備品や清掃用具等について、必要に応じて備品を調達した。	達成	競技備品や清掃用具など、施設の運営において必要となる備品を調達した。
7	職員研修業務	各施設の運営者が円滑かつ適正に行うことができるよう職員研修を行う。	それぞれの所属元である企業の研修以外にも、本施設の運営において各層別に必要となるスキル・知識の習熟のため、SPCで独自の研修を実施した。 ・業務担当者研修 (アンブッシュ・マーケティング研修、障がい者研修、ダイバーシティ研修など) ・開業前スタッフ研修 (AED講習・避難訓練、トラブル対応研修、障がい者研修、コンプライアンス研修、防災研修など)	達成	各施設の運営者が本施設の運営において各層別に必要となるスキル・知識の習熟のため、職員研修を実施した。
8	関係者との調整業務	大会レガシーゾーンにおける都による先行管理の運営に関して、円滑な引継ぎができるよう調整を行う。	先行開業との間で必要な事項について、円滑な引継ぎができるよう、先行管理受託者と適宜調整を行った。	達成	円滑な引継ぎができるよう先行管理受託者と面談を実施するなど、調整を行った。
9	近隣対応業務(開業準備期間)	全面開業に向けて、周辺住民への事業計画内容の説明等を行う。	開業前の令和6年10月7日に、運営に関する説明会を実施した。	達成	周辺住民への事業計画内容の説明等を行うため、開業前に周辺住民説明会を実施した。
10	建築物保守管理業務	建築物の機能と環境を維持し、利用者が安全かつ快適に利用できるよう、建築物各部の点検、保守等を行う。	・日常的な清掃・管理に加え、適宜必要に応じて点検、保守を行っている。 ・現時点で問題は発生していない。	達成	利用者が安全かつ快適に利用できるよう、日常的な清掃・管理に加え、必要に応じた点検や保守を行っている。

No.	業務区分	業務計画の概要 ※要求水準書を踏まえて作成	業務進捗状況 (令和7年3月末)	評価(案)	
				要求水準書等 達成・未達成	コメント
11	建築設備保守管理業務	建築設備の機能と環境を維持し、利用者が安全かつ快適に利用できるよう、日常巡視点検、点検、測定・整備を行う。	①日常巡回点検 日常管理の中で運転管理、点検、整備を行っている。 ②点検、測定・整備 ・関係法令等に基づく法定点検を行っている。 ・スポーツ施設開園時間中は現地にスタッフが常駐していることから、有人での管理に重点を置いて対応している。	達成	建築設備の機能と環境を維持し、利用者が安全かつ快適に利用できるよう、日常巡視点検、点検、測定・整備を適切に行っている。
12	アーバンスポーツ施設の保守管理業務	アーバンスポーツ施設の機能、特性を十分に把握した上で、施設の機能を保持し、利用者の快適かつ安全な利用を図るために、各種点検・保守等を行うこと。	①ボルダーク棟 ・ボルダリングウォールパネルは、日々の運営の中で清掃や点検を実施している。 ・ボルダリングホールドの高圧洗浄については、稼働状況を踏まえ、必要に応じて適宜実施している。 ・屋内ボルダリング棟空調設備等については、チョーク詰まり等が起きないように、フィルター清掃等適宜実施している。 ②スケートボードパーク ・スケートボード施設のクラック補修、レール等金属設置物における錆取り等について、現時点で当該事由は発生していない。 ③3x3バスケットボールコート ・雨天時にはなるべく早く利用再開できよう、維持管理を行っている。	達成	アーバンスポーツ施設の機能、特性を十分に把握した上で、施設の機能を保持し、利用者の快適かつ安全な利用を図るため、各種点検・保守等を適切に行っている。
13	外構等保守管理業務	来園者の快適かつ安全な利用を図るため、必要に応じて保守点検を実施し、適正な維持管理を行う。	・植栽管理についてはテナントであるBuzzが実施しており、適切に管理を行っている。 ・雨水桝及び汚水桝に詰まりが生じないように、必要に応じて適宜清掃を実施している。 ・本施設境界付近での作業方法等については、令和6年10月に有明親水海浜公園の指定管理者と協議を実施する等、適宜協議を実施しながら対応している。	達成	植栽や雨水桝等の清掃など、快適かつ安全な利用を図るための保守管理業務を実施し、適切に行っている。
14	清掃業務	良好な環境衛生、美観の維持、快適な空間を保つため、建物内外の日常清掃に加え、定期清掃を実施する。	・定期清掃は月1回程度を目安に実施している。 ・日常清掃や定期清掃の他、日々の運営の中で現場スタッフがゴミ拾いなどを行っている。	達成	建物内外の日常清掃に加え、定期清掃を実施し、施設を快適な空間に保っている。
15	環境衛生管理業務	環境を常に最良の状態に保つため、施設の環境衛生管理を行う。	大会や催事などの実施においては主催者責任でのごみ処理に加え、終了後に事業者による見回りなどによって対応している。	達成	環境を常に最良の状態に保つため、施設の環境衛生管理を適切に行っている。
16	備品保守管理業務	利用者が快適に施設を利用できる良質な環境を提供するため、本施設に設置される備品の保守管理を行う。	・備品台帳を作成し、適切に管理している。 ・台帳において色分けしており、都の財産台帳と照合できるようにしている。 ・令和6年度中に都が整備した備品の破損、不足等は生じておらず、確実な管理を行っている。	達成	備品台帳を整備し、必要な備品保守管理を適切に行っている。
17	警備業務	利用者が安心して利用できる環境の確保のため、防犯、防火、防災に対する業務を行う。	・店舗棟については遠隔監視による警備を実施。また、防犯カメラを園内各所に配置し、犯罪及び災害の防止に努めている。 ・緊急対応マニュアルの整備により対応している。 ・防火管理者の設置が必要な施設(ランニングスタジアム)については防火管理者を配置している。 ・警備日誌を作成しており、問題が発生した場合は適宜提出している。 ・現時点で問題は発生していない	達成	店舗棟の遠隔監視や緊急対応マニュアルの整備、防火管理者の設置など、利用者が安心して利用できる環境の確保に努めている。
18	基盤施設及び多目的施設の修繕業務	本施設の機能と環境を維持し、利用者が安全かつ快適に利用できるよう、維持管理及び小規模な修繕を行う。	必要に応じて適宜実施している。	達成	本施設の機能と環境を維持し、利用者が安全かつ快適に利用できるよう、維持管理及び小規模な修繕を適切に行っている。

No.	業務区分	業務計画の概要 ※要求水準書を踏まえて作成	業務進捗状況 (令和7年3月末)	評価(案)	
				要求水準書等 達成・未達成	コメント
19	スポーツ大会、 各種イベント等の 誘致業務	・大会レガシーゾーンの年間利用者数は、8万人を目標に利用促進に努める。(初年度37,479人) ・アーバンスポーツ関連の大会やイベントを誘致し、アーバンスポーツ全体の振興、裾野拡大に資する取組を実施する。 (スケートボード、ボルダリング、3x3バスケットボールは、競技団体主催1大会以上) (合計3大会以上の開催が必要であるところ、初年度は10月12日からの開業のため、競技団体主催2大会以上) ・大会レガシーゾーンのみならず広場、多目的ゾーンを一体的に活用し、円滑に開催運営を行う。 ・その他各種イベントについても、積極的に誘致・開催し、地域のにぎわい創出に貢献する。	①大会レガシーゾーンの利用者数(令和6年10月～令和7年3月) ○スケートボード 26,141人 ○ボルダリング 5,443人 ○3x3バスケ 6,091人 合 計 37,675人 ※詳細は別紙「有明アーバンスポーツパーク利用実績について」参照	達成	・体験会などのイベント実施で、競技の裾野拡大や利用促進に努め、初年度の目標人数を達成した。 ・開業イベントでは6万人を集客した。さらに大会レガシーゾーンの利用へつなげられるよう、施設内外での誘因策を強化するなどの取組が必要である。
			②アーバンスポーツ大会・イベント利用 ・令和6年10月12日～14日の開業イベントにおいて、3x3バスケットボール・BMX・インラインスケート・パルクールの大会や、ボルダリング・ブレイキンの体験会を行った。 ・ボルダリングについて、競技団体主催の大会誘致に向けて調整中。 ・開業イベントにおいては、選手控室や運営本部の配置をサポートするとともに、多目的ゾーンの施設も活用することで円滑な運営を行った。 ・大会の円滑な開催運営のため、備品の貸出や駐車場の利用、シャワールームの貸出、テント設置等の対応など、大会主催者を幅広くサポートしている。 ・大会誘致にあたって、ランニングスタジアムを一体利用できるような提案や、多目的ゾーン内のスペースについても貸切料金を設定するなど、利用者にとって利用しやすいメニューを提案している。	達成	・スケートボードは1回、3x3バスケットボールは1回開催し、要求水準を達成した。 ・ボルダリングは、開業イベント時に競技団体と連携したイベント開催を実施したほか、令和7年度の大会誘致を見越した日本代表合宿の実施など、令和7年度での大会開催に向けた調整を進めている。 ・大会の誘致や開催運営については、適切にサポートできている。
			③その他各種イベント 令和7年1月24日～25日に、愛犬家向けイベントを実施した。 周辺エリアの世代別構成等を考慮に入れ、利用者ニーズに応じ、幅広く使われる施設となるよう、各種イベントの誘致を検討する。	達成	アーバンスポーツ以外のイベントを積極的に誘致・開催し、地域のにぎわい創出に貢献している。
20	施設の提供業務	利用者に対して、施設の利用方法や注意事項を説明する。	・HP上へ施設の利用方法や注意事項を掲載している。 ・SNS上に、施設のイベント情報や貸切情報や天候による営業状況等をリアルタイムで掲載している。 ・管理棟受付のデジタルサイネージで情報発信している。	達成	利用者に対して、施設の利用方法や注意事項を様々な手段で発信することで、適切な施設提供業務を行っている。
21	予約受付・調整業務	適切な利用予約受付体制を構築し、必要に応じて、利用者の利用促進につながる予約受付を行う。	クラウド上で予約管理することにより、予約状況や混雑状況をWEB上で確認できるようにし、来館者の利便性向上を図っている。	達成	予約状況や混雑状況をWEBで確認できるようにするなど、適切な利用予約受付体制を構築している。
22	利用料金の収受業務	利用料金を利用者から収受し、適切に管理すること。	大半は予約システムを活用した料金収受であるが、現金の場合は現場事務所において金庫を活用して適切に管理を行っている。	達成	利用者から収受した利用料金について、適切に管理されている。
23	備品の貸出業務	アーバンスポーツ施設において、備品の貸し出しを行う。	都と協議の上、整理した貸出備品を、利用者の希望に応じて貸し出しを行っている。なお、貸出時に使用方法の説明や注意事項を伝えるとともに、貸出記録をシステム上で管理している。	達成	貸出時に使用方法の説明や注意事項を伝えるとともに、貸出記録をシステム上で管理することで、適切な備品貸出業務を行っている。
24	利用者支援業務	・事業者は、利用者、来館者等に対して必要な対応を行う。 ・必要に応じ、他のアーバンスポーツ施設やスポーツ施設等とも連携し、双方の施設を紹介する等、アーバンスポーツ施設全体の利用者が増える取組を積極的に実施する。	・主に当日の利用可否確認や料金、予約方法に関して、電話等で対応している。 ・来館者や見学者等への応接(施設の案内等)を必要に応じて適宜対応している。 ・施設利用者等に対する駐車券の処理を行っている。 ・他施設との連携については検討中。	達成	・利用者、来館者等に対して電話対応や施設案内など必要な対応を行っている。 ・令和7年度以降は、他施設と連携し、アーバンスポーツ施設全体の利用者が増える取組を積極的に実施していく必要がある。
25	広報・誘致業務 (運営期間)	①広報 ・ウェブサイトを開設し、SNSを活用したPR活動を行う。 ②誘致 ・大会・イベント用の対応窓口として、イベント事務局を組成する。	①広報 ・HPの制作、Instagram及びXのアカウントを制作してPR活動を行っている。ゆりかもめ公式ウェブサイトにも施設紹介を掲載している。 ・開業イベントにおいては、3日間で41媒体の取材があった。 ・周辺他施設やDMO推進協議会などにおいて他施設と連携したPR活動を模索している。 ②誘致 ・イベント事務局を組成し、営業活動を適宜行っている。 ③その他 ・広報営業活動については事業者内で週1回の打ち合わせを行い、効果的な活動を検討している。	達成	・HPやSNSアカウントを制作してPR活動を行い、開業イベントでは多くの媒体に取材された。 ・令和7年度以降は、他施設と連携したPR活動にも力を入れていく必要がある。 ・イベント事務局を組成し、営業活動を行っている。
26	スポーツ教室事業等の運営業務	・アーバンスポーツを始めるきっかけづくりや継続した施設利用につながるスポーツ教室を実施する。 ・けが対策やマナー向上の説明を併せて実施する。	・スポーツ教室事業 ○ボルダリング スポーツ教室につなげるためのイベントとして、以下の体験会を実施した。 親子体験会(令和7年2月～3月) 147名 ボルダリング体験会(令和7年3月) 53名 ○スケートボード 超初心者体験会(令和6年11月～令和7年3月) 198名 初心者体験会(令和6年11月～令和7年3月) 52名 ・注意事項などを記載した利用規則への事前承諾を必要とするとともに、実施時にけが対策やマナーの説明を行っている。	達成	・アーバンスポーツを始めるきっかけづくりや継続した施設利用につながるよう、初心者向けの体験会を実施した。 ・体験会では、けが対策やマナー向上の説明を併せて実施した。

No.	業務区分	業務計画の概要 ※要求水準書を踏まえて作成	業務進捗状況 (令和7年3月末)	評価(案)	
				要求水準書等 達成・未達成	コメント
27	アーバンスポーツ施設、多目的施設の運営及び安全対策業務	- 来館者の利便性の向上を図るとともに、本施設の魅力を高め、にぎわいを創出するため、アーバンスポーツ施設、多目的施設の運営を行う。 - 本施設利用者、隣接する公園利用者及び近隣住民等の安全・安心に配慮し、安全対策を行う。	①運営業務 - 近隣住民が気軽に体験し楽しめるよう、体験会や備品レンタル無料キャンペーンを実施した。 - 施設内の複数サービス利用者を対象とした駐車場の割引サービスを行い、運動機会の増加につなげている。 - 本施設の魅力を高めるため、各テナントと連携したイベントを実施した。 ②安全対策 - 適宜見回りなどを実施することで安全対策を行っている。 - 大会やイベント開催情報を現場スタッフに共有し、開催時には必ず1名以上は現地に立ち会うことで、柔軟かつ即時的な近隣対応が行えるようにしている。また、大規模競技大会の場合はメディカルスタッフの配置を要請している。 - 緊急対応マニュアルを作成し、スタッフ間で共有している。	達成	- 本施設の魅力を高めるため、各テナントと連携したイベントを実施するなど、にぎわいの創出につなげている。 - 本施設利用者、隣接する公園利用者及び近隣住民等の安全・安心に配慮した安全対策を実施できている。
28	マナー対策業務	本施設利用者、隣接する公園利用者及び近隣住民等が快適に過ごせるように、利用者のマナー対策などを行う。	①「有明アーバンスポーツフェスティバル」でのマナー啓発活動 - 多くの来場が想定される大規模イベント時にマナーやアーバンスポーツ文化における啓蒙活動を実施した。 - 特にフェスティバルでは初めてアーバンスポーツに触れる子どもや大人が多くなるため、導入時に正しい知識や文化を伝え、その後のスポーツ活動で活かしてもらう環境づくりを行っている。 - イベント時の周知により、地域住民にアーバンスポーツ文化を理解してもらい、競技者と双方の理解浸透に努めている。 - サインの掲示に加え、イベントを通してトップアスリートからの声かけによるマナー周知を実施している。 ②スケートボードのマナー啓発 - スケートボードの現場スタッフはムラサキスポーツと連携し、マナー啓発に造詣が深い人員を配置している。 【スケートボードパークスタッフ】 - スケート歴 3～30年 - パーク運営経験、ムラサキスポーツ店長経験、ワールドスケート審判員などの経歴を持つスタッフを配置 【ボルダー棟スタッフ】 - クライミング歴 半年～12年 - ジムスタッフ歴 半年～6年 - ジュニアオリンピック出場やリードジャパンカップ出場の経験者を配置 ③スクール内での親子マナー教室の実施 - バスケットボールとゴミ拾いをかけあわせたプロジェクトを実施する団体「PickupPlayground」と連携し、親子でのスクール参加者間の交流を図りながら環境美化を行う施策の実施に向けて調整している。	達成	本施設利用者、隣接する公園利用者及び近隣住民等が快適に過ごせるよう、大規模イベント開催時にはマナー啓発活動を適切に実施している。また、スケートボードの現場スタッフには造形の深い人員を配置し、一般利用時にもマナー対策を行っている。
29	駐車場・駐輪場監理業務	- 来館者が円滑に利用できるよう、誘導・案内を行う。 - 周辺地域において、路上駐車等が発生しないよう注意する。	- マップやサインによって円滑な利用を促進している。 - 路上駐車に対して、警備スタッフが巡回して対応している。	達成	構内通路が本施設のサービス動線として適切に機能するよう、誘導・案内を行うほか、周辺地域の路上駐車対策を必要に応じて実施している。
30	行政・周辺施設との連携	近隣の有明親水海浜公園、有明アリーナの管理者と適宜情報交換を行い、イベント時の対応など協議を行う。	①行政との連携 - Teamsを活用して適宜情報共有を行っている。 ②周辺施設との連携 - 有明親水海浜公園、有明アリーナの指定管理者と月に1回、情報交換を行い、連携を模索している。	達成	近隣の有明親水海浜公園、有明アリーナの管理者と適宜情報交換を行い、イベント時の対応など協議を行うなど、周辺施設と連携している。
31	近隣対応業務(運営期間)	近隣住民等の生活や活動の支障にならないように配慮する。	- 近隣からの苦情や要望等については、必要に応じて都に報告するとともに、誠意をもって適切な対応を行っている。 - 住民の意見を踏まえながら騒音対策には配慮し、来場が多い場合は見回りによって自動車や歩行者の誘導を行っている。	達成	近隣住民等の生活や活動の支障にならないように配慮している。

No.	業務区分	業務計画の概要 ※要求水準書を踏まえて作成	業務進捗状況 (令和7年3月末)	評価(案)	
				要求水準書等 達成・未達成	コメント
32	一時滞在施設運営業務	一時滞在施設の開設に伴う業務等について、平常時から準備し、災害発生時には都に協力する。	- 令和7年3月よりボルダー棟を一時滞在施設として開設した。これに伴い、マニュアルを作成するとともに現地スタッフへ共有し、災害時対応に関する教育を実施している。 - 半屋外型のランニングスタジアムにおける災害時の貢献方法について、江東区と協議している。 - EVカーシェアを活用した電源などのインフラを整備したことで、平常時はカーシェアとしての利用、災害発生時は非常用電源としての利用が可能である。	達成	一時滞在施設の開設に伴う業務等について、災害発生時には都に協力できるよう、平常時から準備をしている。
33	実施体制	事業全体を統括する統括管理責任者の下に、業務毎に業務責任者及び業務担当者を配置し、万全な実施体制を構築する。	- 統括管理責任者の下、各業務の業務責任者及び業務担当者を配置している。 - 統括管理責任者が近隣対応責任者を兼任し、統括管理責任者と統括管理副責任者が地域共創チームとして地域関係者と連携、エリアマネジメント活動を行っている。	達成	事業全体を統括する統括管理責任者の下に、業務毎に業務責任者及び業務担当者を配置し、万全な実施体制を構築している。
34	ネーミングライツ関連業務	都と協議の上、募集要項の作成、関係各所との協議、募集活動、パートナー選定などを行う。	令和6年7月19日にネーミングライツパートナーが決定。附帯権利についても都と協議の上設定した。 令和11年10月11日に契約が終了し、次期契約は令和11年10月12日の開始を想定している。 ・契約先 株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド ・施設名 livedoor URBAN SPORTS PARK ・契約金額 5億円/5年間	達成	都と協議の上、募集要項の作成、関係各所との協議、募集活動、パートナー選定などを実施した。

有明アーバンスポーツパーク利用実績について

1 大会レガシーゾーンの利用者数

(単位:人)

実施月	スケートボード パーク	ボルダー棟	3x3 バスケットボール コート	合計
令和6年 10 月	6, 961	828	1, 449	9, 238
令和6年 11 月	2, 895	1, 113	1, 001	5, 009
令和6年 12 月	2, 628	745	675	4, 048
令和7年1月	3, 947	812	746	5, 505
令和7年2月	4, 199	942	935	6, 076
令和7年3月	5, 511	1, 003	1, 285	7, 799
合 計	26, 141	5, 443	6, 091	37, 675

2 アーバンスポーツ大会

(1)スケートボード

・競技団体主催

実施月	大会名	備考
令和6年 10 月	AJSA 2024 PRO TOUR “MBM CUP” support by 有限会社マサケン	日本スケートボード協会が主催するプロ ツアー第2戦次期オリンピック候補登竜門 (中学生以上)

・競技団体主催以外

実施月	大会名	備考
令和6年 10 月	FLAKE CUP support by VANTAN	日本スケートボード協会が公認する日本 最大のキッズコンテスト(小学生)

(2)ボルダリング

・大会開催なし

(3)3x3 バスケットボール

・競技団体主催

実施月	大会名	備考
令和6年 10 月	3x3 JAPAN TOUR 2024 EXTREME	日本バスケットボール協会が主催する シーズン制の競技大会「3x3 JAPAN TOUR」のうち、育成・強化を主目的とし た、国内トップカテゴリーの大会

・競技団体主催以外

実施月	大会名	備考
令和6年 11 月	3XS 2024-25 SEASON EGOZARU DIVISION ROUND6	3x3 バスケットボール国内リーグ戦第6回 目のラウンド

(4)その他アーバンスポーツ

・BMX

実施月	大会名	備考
令和6年 10 月	BMX NEXT HERO (ジュニアオリンピック カップ/高校選手権)	全日本フリースタイル BMX 連盟が主管 する公式戦 ジュニアオリンピックカップは小学4～6年 生・中学生対象

・パルクール

実施月	大会名	備考
令和6年 10 月	第 5 回パルクール日本選手権 スピード	日本体操協会が主催する 16 歳以上の スピード日本一決定戦
令和6年 10 月	パルクール ネクストジェン・スピード	日本体操協会が主催するジュニア (16 歳以下) 及びキッズ (11 歳以下) のスピ ード日本一決定戦

・ローラーフリースタイル

実施月	大会名	備考
令和6年 10 月	JASPA 2024 PARK	日本ローラーフリースタイル協会が主催 するパーク日本一決定戦 (6歳以上)

3 アーバンスポーツイベント

実施月	イベント名	備考
令和6年7月	100 日前イベント	有明アリーナにて開催される「有明アリー ナスポーツフェス 2024」のコンテンツの一 つとして、同サブアリーナにおいてアーバ ンスポーツの体験会を開催
令和6年 10 月	近隣向け体験会	スケートボード、ボルダリング、3x3 各施設 にて周辺住民を招待し体験会を実施
令和6年 10 月	3x3 U12 大会・体験会	3x3 バスケットボール U12 カテゴリの大 会。参加者 (チーム) の募集は東京都バ スケットボール協会を中心に実施
令和6年 10 月	BOULDER TRAIL SESSION Supported by TOSHO ASSOCIATE	日本山岳・スポーツクライミング協会が主 管するデモ&体験会

令和6年 10 月	JDSF ブレイキン体験会	日本ダンススポーツ連盟が主催するデモ &体験会 デモ:ジュニア強化選手 体験会:子供から大人まで
令和6年 10 月	JRFA ローラーフリースタイル体験会	日本ローラーフリースタイル協会が主催 する、初心者およびジュニアを対象とした コース体験会
令和7年1月	福男・福女競走イベント	年初めのイベントとして、スケートボードパ ークにて、男女別で福男・福女を決めるレ ースを開催
令和7年1月	みずほ Well-being DAY	スケートボード、ボルダリング、3x3 各施設 にてマーケティングパートナーであるみず ほ銀行を招待し体験会を実施
令和7年1月	ワンポイントレッスン会	ボルダリングリング初心者対象の講習会
令和7年2月	ボルダリング親子体験会	ボルダリング初心者の親子を対象とした 体験会
令和7年3月	ボルダリング体験会	ボルダリング初心者を対象とした体験会
令和7年3月	ウェルネスファミリー育成プログラム presented by 森永 in	身体の動かし方や栄養に関する知識を、 親子で楽しみながら学ぶプログラム
令和7年3月	アクションスポーツデイ	スケートボード、BMX、ローラースケートな どのスポーツを気軽に楽しめるイベント開 催

4 エリアマネジメントイベント

実施月	イベント名	備考
令和6年 11 月	第 10 回パラ大学祭	地域貢献活動の一環として、大学対抗 で行うパラスポーツの運動会を実施
令和7年2月	小学生向け講演会	地域貢献活動の一環として、有明西学 園において、本施設のアmbasダーで ある為末 大氏による講演会

5 総括

(1) 大会レガシーゾーンの利用について

・大会レガシーゾーンの年間利用者数は、開業イベントをはじめ、各種大会やイベントを誘致・開催したことで、37,675 人となり、要求水準書上の初年度目標である 37,479 人を上回った。

(2) アーバンスポーツ大会・イベントについて

・アーバンスポーツ大会やイベントの開催について、21 回実施することができた。この中で、スケートボード、ボルダリング、3x3 バasketボールは、要求水準書上で競技団体主催の大会を年1大会以上の開催(合計3大会以上、令和6年度は半年間の運営のため2大会以上)が必要であるところ、スケートボードは1回、3x3 バasketボールは1回開催し、要求水準を上回った。

・ボルダリングについて、開業イベント時に競技団体と連携したイベント開催を実施したほか、令和7年度の大会誘致を見越した日本代表合宿の実施など、令和7年度での大会開催に向けた調整を進めた。

(3) その他

・騒音問題などアーバンスポーツへのネガティブなイメージを解消・払拭しつつ、スポーツに親しめる環境を地域の方々と共に創るため、エリアマネジメントイベントを2回開催し、地域との連携を進めている。